

# 双葉西小だより

令和3年 1月25日 文責 学校長 平塚 克人



## 「地域とともにある学校」

### ～コミュニティ・スクール公開研究会を終えて～

甲斐市教育委員会より平成30年度から3年間の指定を受けました「コミュニティ・スクール推進事業」が区切りの3年目も終盤を迎え、その成果と課題を教育関係者に公開することを目的とし、今月21日（木）に公開研究会を行いました。本来ですとできるだけ多くの方々にご来校いただき、様々な観点からのご意見をいただき、それらを踏まえまして次年度からの新たな区切りのスタートとしたかったところですが、コロナ禍だからでしょうか、公開案内を配布してから参加者の申し込みは決して多くはありませんでした。それでもありがたいことに当日は市教委、講師、ゲストティーチャーを含めまして40名弱の皆様にお出でいただき、最後の全体会にもおよそ半数の方々にご参加いただきました。平日の大変お忙しい中、また大寒翌日の寒い中を本校公開研究会のために足を運んでくださいました皆様には心より感謝申し上げます。



当日はまず、公開授業前に研究主任による研究概説明を行いました。説明では、これまでの経緯を踏まえながら、今年度の学校運営協議会や学校応援団の様子、本日の授業に至るまでの経過等について話がありました。

公開授業では、地域の方々と「つぐむ授業」及びゲストティーチャーを招いての授業を参観していただきました。授業を通して、本校が積み上げてきた「地域とともに学び、地域とともに育つ」子供たちの生き生きとした姿や、豊かな学びが実現できている様子を発表することができました。ご参加をいただいた方々からは、「地域の方々の関わる姿から、長年のコミュニティ・スクールとしての積み重ねを感じた」「子供たちの主体的な学びの姿が素晴らしい」などの感想をいただきました。この成果を今後の教育活動に生かしていきたいと考えます。

この公開研究会実施に至りますまで、学校応援団の皆様をはじめ保護者や地域の皆様方にも、様々な場面でご支援をいただきました。この場を借りて、学校を支えていただいているすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。

#### ＝参考＝ 全国コミュニティ・スクール導入状況 〈文科省公表による令和2年7月現在〉

##### ① 全国の公立学校におけるコミュニティ・スクールの数

9,788校（導入率27.2%）【前年度から2,187校増加で導入率5.9ポイント増加】

##### ② 全国の公立小学校、中学校、義務教育学校におけるコミュニティ・スクールの数

8,681校（導入率30.7%）【前年度から1,914校増加で導入率7.0ポイント増加】

##### ③ コミュニティ・スクールを導入している公立学校設置者数

850市区町村29道府県【前年度から155市区町村7道府県増加】

##### ④ 学校運営協議会の設置状況

◎全国の学校運営協議会数…8,495協議会

・1校に1つ設置している協議会の数…7,600協議会（7,600校）

・複数校で1つ設置している協議会の数…895協議会（2,188校）



## 公開授業前の概要説明

受付終了後の午後1時40分から、研究主任の戸田教諭が10数分ほどで、これまでの本校の取り組みについての説明をしました。



## 公開授業後の全体会

低中高学年のブロック長・授業者からのこれまでの具体的な活動の様子や授業を終えての感想に続き、質疑応答、講師からの指導・助言がありました。時間設定は45分間でしたが、1時間を越えての活発な意見交換があり、大変有意義な時間になりました。



## 3年総合的な学習の時間

### 双葉を知ろう

3年生は今年度も総合学習では、畑で育てている枝豆の様子を学校応援団の方と一緒に見て食べ頃を教えていただいたり、図工の釘打ちやローマ字でのキーボード入力で支援していただいたりしてきました。また、社会科では地域の方々から双葉地区の様子を聞くことで、歴史やまちの様子について学習してきました。

この日の授業では、調べ学習を行ってきました『双葉スマートIC』『ほたる祭り』『光照寺』『ポピー畑』の4つのグループの発表を聞き合っ、更に双葉の良さを伝えるためにはどのような発表が良いのかを考えました。

学校応援団の山田さんと開沼さんから子供たちの発表からの感想や改善点を丁寧な言葉で分かりやすく話していただきました。



## 2年体育

### 体のバランスをとる運動遊び

#### ～力の移動を通して～

本校の休み時間中のけがの様子で、転んだ拍子に体をうまく動かさずに、けがをしてしまう子供もいます。時には顔や頭をぶつけてしまう子供もいるということから、転んだ時に体の使い方を工夫して大けがを避けることを目標にこの授業が計画・実施されました。

授業には学校運営協議会の小田切会長を講師に迎え、受け身での体の使い方を学びました。会長自身がスポーツ少年団で長年にわたり柔道を指導してきたこともあり、子供たちも3種類の受け身を楽しみながら習得できました。

また、地域貢献ということで、双葉中学校柔道部5名による子供たちへの親切丁寧な指導もあり、安心して分かりやすく教えてもらえました。



## 5年総合的な学習の時間

### 双葉の米作りを見つめよう

5年生は、「双葉の米作りを見つめよう」をテーマにこれまで学習を進めてきました。学習を進めていく中では、米作りについて体験したり学んだりしたことをもとに、お米に関わる歴史や環境などについて学習を深めたり、自分たちに行うことができるか考えたりすることができるように体験活動と探求活動の両輪での授業構成がなされてきました。

この日のめあては、「米作りの現状と課題プロジェクトを分かりやすく提案しよう。」「発表をしたり、話を聞いたりして、これからの米作りのヒントになることを見つけよう。」でした。学校応援団の豊田さん、花田さん、阿部さん、JA梨北の竹之内さん・矢崎さんへのグループごと(①歴史 ②生産の秘密 ③環境 ④料理・栄養)の発表に始まり⇒助言・意見交換⇒ふりかえり⇒最後は全体で共有するという授業展開でした。子供たち1人ひとりの真剣さがひしひしと伝わってきました。



## (お願い)

先週、来月の「授業参観・PTA学年部会のお知らせ」を配付しました。その案内の裏面にも書かせていただきましたが、授業参観当日は感染症防止のため『保護者1名のみ参加』とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願いいたします。